

## 施政方針(概要)

全国的に問題となっている少子化が、本市においても深刻化しており、出生数はここ数年で激減しております。そこで、本市では将来結婚や出産を望む人の希望を実現できるような社会環境づくりを推進し、少子化対策を強化するため、令和6年2月に「第6次荒尾市総合計画」を改訂し、その取組を明確にしたところです。改訂版においては、少子化対策の強化を図るため、重点戦略「あらお未来プロジェクト」における横断的な目標として、新たに「こどももみんなも笑顔でいられるまちをつくる」を設定いたしました。住まいや雇用などあらゆる分野の視点から広く少子化対策を意識した事業を実施していくこととし、ライフステージごとに、切れ目のないパッケージとして幅広い施策を展開してまいります。

令和6年度の主要な施策については、市総合計画に掲げる横断的な目標「こどももみんなも笑顔でいられるまちをつくる」と、重点戦略「あらお未来プロジェクト」の5つの柱に沿って進めてまいります。

※詳細は次ページを参照。

令和6年度当初予算では、一般会計が263億6,000万円、特別会計が148億4,017万5千円、企業会計が170億3,121万5千円で、全会計の総計は582億3,139万円といたしました。これを前年度当初予算と比較しますと、一般会計は8.0%の増、特別会計は0.7%の増、企業会計は15.3%の減、総計で1.7%の減となっております。

令和6年度は、喫緊の課題となっている急速に進む少子化に対応するため、ライフステージごとに切れ目のない新規施策を全庁的にパッケージでまとめ、地域や事業所の皆さんとも一体となって進める『オール荒尾少子化対策予算』との想いを込めて編成いたしました。

今後も、最小の経費で最大の効果が得られるよう、創意工夫しながら果敢に挑戦し、若い世代には荒尾で子どもを産み育てたいと感じていただき、将来を担う子どもたちが夢を抱き、そして、高齢者の皆さんには健康で安心して暮らしていただけるよう、誰もが幸せを実感できる『暮らしたいまち日本一』を目指してまいりたいと考えております。